## ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、 大切に保存し、必要なときにお役立てください。

## 安全のために必ずお守りください



**苞攵 /** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 

お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士 の資格が必要です。(火災・感電の原因)

器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を 置かない。(過熱して火災の原因)

器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)

器具を布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)

引火する危険のある雰囲気で使わない。 (火災の原因)

器具を覆わない、カバーに何も貼り付けない。 (過熱による火災の原因)

禁止 カバーに塗料などを塗らない。

(過熱による火災の原因)

厳守

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異 常を感じた場合はすぐに電源を切る。 (火災・感電の原因)

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの 誤った取扱いをしたときに、軽傷または

禁止

光を直視しない。

(長時間直視すると目を痛める原因)

点灯中及び消灯直後の器具には触らない。 (高温のためやけどの原因)

・照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、 外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。

LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。 点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけでは ありません。

明るく安全にご使用いただくために半年に1回の 保守・点検を行う。(発火・感電・落下の原因) 不具合があったら、そのまま使用しないで工事店 または電気店に修理を依頼する。

- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- ・点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電 などに至る恐れがあります。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。(JIS C 8105-1 解説による。)

### 器具の清掃



**芍攵 /+・** 電源スイッチを切ってから行う。 | | | (感電の原因)

注意 点灯中及び消灯直後の器具には 触らない。(高温のためやけどの原因)

<器具のお手入れについて> 器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくし ぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。 台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ 性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<カバーのお手入れについて> カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。

### 知っておいていただきたいこと

・点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

### 使用に関するご注意

- ・LED にはバラツキがあるため、 器具内の個々の LED や同形状の器具でも発光色、 明るさが異なる場合があります。 予めご了承ください。
- · LED 光源の交換はできません。 交換の際は器具ごと交換してください。
- ・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。 予めご了承ください。
- 調光器との併用はできません。
- ・ランプ点灯時に点灯する表示付スイッチを使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- ・ドアや家具、段ボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。 火災の原因となります。

### 保証について

照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されて いるLED光源・電源ユニットは3年間です。

無償提供

LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきま しては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間 無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

# 異常時



煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを 切る。(火災・感電の原因)

煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

取扱い・修理のご相談は、まず |お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社 三菱電機照明株式会社 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓■ 照明技術相談センター 0120-348-027<sub>(無料)</sub>

受付時間 9時~17時(土・日・祝日は除く) お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。 FAX (0467) 46-8861

E771Z314H50

保管用

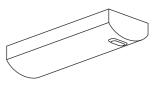
このたびは三菱照明器具をお買上げいただき ありがとうございました。



## 三菱 LED 照明器具

流し元灯

形名 EL-Z0501N



・この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、また、アフターサービスもできません。

電源周波数 50Hz、60Hz 共用ですから、日本全国どこでも使用できます。

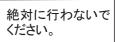
・施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

・取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

## 安全のために必ず守ること

・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、 ⚠警告 ⚠注意 の表示で区分して説明しています。 表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。



必ず指示に従い 行ってください。

### **芍女 /** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに ■ 結びつく可能性があるもの

引火する危険のある雰囲気で使わない

(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じん のある所で使わない。)(火災の原因)

器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)

配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)

高温 (35℃を超える)、高湿 (85% R Hを超える)、粉じん、 油煙の多い場所、腐食性ガスの出る場所、強い振動・衝撃の ある場所で使わない。(落下・感電・火災の原因)

棚下(天井)取付専用です。指定方向以外の取り付けはしな い。(感電の原因)

電源は表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧 の90%以下の電圧使用は、電源ユニットの短寿命、故障と なります。(火災・感電の原因)

禁止

狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、 放熱を妨げない。(加熱による火災の原因) **−般屋内用器具です。屋外、水気・湿気のある場所(例:ト** 

イレ・厨房・脱衣所など)、及び軒下、屋外通路、アーケード などの雨線内では使用しない。(火災・感電の原因)

器具を覆わない、カバーに何も貼り付けない。 (過熱による火災の原因)

**カバーに塗料などを塗らない**。(過熱による火災の原因)

施工は電気工事士の有資格者が「電気設備の技術基準」・ 「内線規程」に従い行う。



(施工不備により、火災・落下・感電の原因) 器具の取付けは取扱説明書に従い行う。

(不確実な取付けは、落下・火災・感電の原因)

電源の接続は取扱説明書に従い行う。 (接続が不完全な場合は、接続不良により火災の原因)

# 注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または 家屋・家財などの損害に結びつくもの



器具取付面(クロス貼り・コンクリート)が乾燥不十分の 場所に取付けない。(絶縁不良や錆により、感電・落下の原因)

禁止

|5℃未満の低温地域で使用しない。 (結露などにより絶縁不良・火災・感電の原因)

器具接地面は凹凸のない様前処理を施す。また、板厚の薄 い所や強度的に不十分な所に取付けない。(落下の原因)

### お願い

・周囲温度は5~35℃の範囲でご使用ください。

直射日光の当たる場所で使用しない。

(変色・変形・火災の原因)

・温泉地など、腐食性ガスが発生する場合での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。

油煙のある場所では使わないでください。光学特性が低下する原因となります。

・器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合わせるとチラツキや騒音の発生、 電源ユニット故障の恐れがあります。 リレー接点式人感センサスイッチをご使用ください。

### 仕様

定格電圧	周波数	入力電流	消費電力
100V	50/60Hz	0.055A	5.4W

### 各部のなまえと取付けかた一

●この器具は棚下専用です。

切り欠いて貫通させる。(単位 mm)

(1)天井面からの電源線の引込穴はA部より行う。

側面からの電源線引込穴はB部の薄肉部をペンチで

A部:天井面側電源線 B部:壁側電源線

引込穴(薄肉部)

37

カバー側面

29

18

(2) 附属の木ねじ3本で、天井面のしっかりと補強された

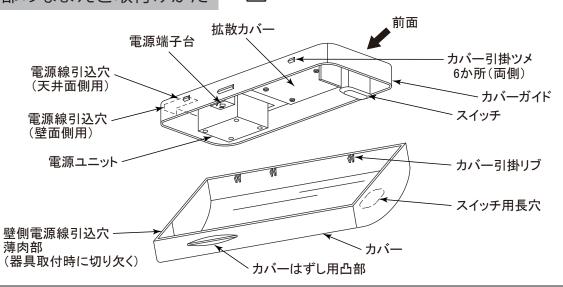
引込穴(薄肉部)

器具の取付け

部分に取付ける。

3-045取付用

前面



【附属品】

木ねじ 3本

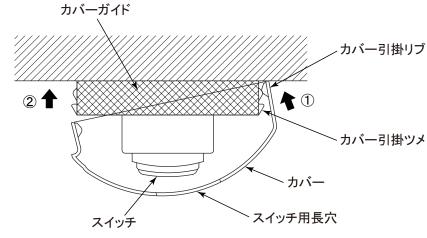
(1)スイッチとスイッチ用長穴を合わせて、

3カバーの取付け

- (1)カバーガイドの引掛ツメにカバー引掛リブを引掛ける。
- ②反対側のカバー引掛リブを押し上げて確実に取付ける。
- ※両方の引掛部を同時に入れようとすると固くて入りづらいことがある。

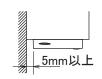
# 

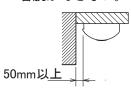
カバーは天井に密着するまで押し上げる。 中途取付けはしない。 (カバー落下の原因)



・壁面より後ろ5mm以上、左右50mm以上離して取付ける。

※スペースがないとカバー着脱ができない。





電気工事の際は電源を切る。 (感電の原因)

- ・板厚の薄い所や強度的に不十分な所に取付けない。 (落下の原因)
- ・器具取付面 (クロス・コンクリート) が乾燥不十分の 場所に取付けない。

(絶縁不良や錆による感電・落下の原因)

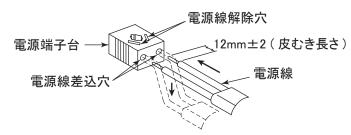
- ・指定方向以外の向きに器具を取付けない。 (落下・感電・火災の原因)
- ・棚下(天井)取付以外は行わない。 (落下・感電・火災の原因)

## 2 電源線の接続

カバーガイド裏側

(1)電源線を電源端子台の差込穴に確実に差し込む。 ※電源線は接続後、影にならないよう天井側に押し込む。

212



適合電線は、単線 φ 1.6、φ 2.0

※電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを 電源線解除穴にまっすぐ差し込む。

# ⚠警告

- ・指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし1本ずつ 電源端子台の奥まで差し込む。
- (電源線の差込み不十分は接触不良により感電・火災の 原因)
- ・電源線接続の際は、電源線を張った状態としない。 (接続不良による発熱で火災の原因)

### カバーの外し方

③カバーのはずし用凸部を下側に引張って、片側を外してから、反対側を外す。

